

平成 28 年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号

千葉県立

高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のいずれかに該当する生徒

- ア 中学校で欠席，遅刻，早退が少なく，かつ，本校入学後も学習活動に積極的に取り組む生徒
- イ 中学校で生徒会活動や学校行事に積極的に取り組み，本校入学後もその分野に積極的に取り組む生徒
- ウ 中学校で部活動に3年間熱心に取り組む，本校入学後も部活動に積極的に取り組む生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う5教科の学力検査
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者3～5名，評価者2～3名の集団面接
(4) 自己表現	次のア，イのいずれかを，出願時に受検者が選択 ア 口頭による自己表現 日本語による自己アピールや高校生活の抱負（1名70秒から90秒） イ 実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択 野球(男)，陸上競技(男女)，サッカー(男女)， バスケットボール(男女)，バドミントン(男女)，卓球(男)， 吹奏楽(男女)，美術(男女)，書道(男女)

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
個々の教科の得点	特に問題となる点がある場合は審議の対象とする。

(2) 調査書

アの数値に，イ，ウ及びエについて評価基準をもとに数値化して60点満点で評価したものを加えた数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 全学年の計の値が著しく低い教科がある，または，未評価の教科がある場合は，審議の対象とする。

イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が10日未満の場合は評価する。 3ヶ年皆勤の場合はさらに評価する。 3年間の欠席日数が多く、その理由が不明確である場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○印の個数が特に少ない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録, 部活動の記録及び 特記事項	同一部活動を3年間続けた場合は評価する。 運動系、文化系の様々な分野において、校外の大会等で優秀な成績を残した場合は評価する。 漢字検定、数学検定、英語検定、毛筆検定又は硬筆検定において4級以上の資格を有している場合は評価する。 学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動等において委員長、本部役員、部長等として活動した場合は評価する。
オ 総合所見	本校の期待する生徒像、並びに調査書の評価項目ア、イ、ウ及びエに関連する内容について評価する。

### (3) 面接

受検者3～5名の集団面接を実施する。

面接は、2～3名の評価者がそれぞれ「A」「B」「C」の3段階で評価し、その評価を数値化して100点満点で評価する。Cの評価がある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
(ア) 志望動機	本校の期待する生徒像を理解しているか。
(イ) 内容	質問をよく理解して、自分の考えで答えられているか。
(ウ) 規範意識	学校のルールを守ろうという意識があるか。
(エ) 態度等	礼儀、姿勢、言葉遣い、身だしなみはきちんとしているか。

### (4) 自己表現

出願時に申告した方法と種目（次のア、イ、ウのいずれか）で自己表現を行う。自己表現は、2名の評価者がそれぞれ「A」「B」「C」の3段階評価し、その評価を数値化して200点満点で評価する。

ア 口頭による自己表現（スピーチ）

自己アピールや高校生活の抱負について、1人70秒から90秒で、2名の評価者の前で話をする。メモ等の持込みは認めない。

評価項目	評価基準
(ア) 自己アピール、内容	本校の期待する生徒であることが、自分の言葉で分かりやすく表現できているか。
(イ) 表現力、意欲	表現力豊かで意欲的に伝えているか。
(ウ) 時間	制限時間を有効に使うことができたか。
(エ) 態度、話し方	礼儀、姿勢、言葉遣いはきちんとしているか。

- イ 実技による自己表現(運動系)【野球(男), 陸上競技(男女), サッカー(男女), バスケットボール(男女), バドミントン(男女), 卓球(男)】  
各実技の実施方法は, 検査の当日に指示する。実技に必要な持ち物等は, 出願時に指示する。

評価項目	評価基準
(ア) 基礎運動	基礎的な運動能力を身につけているか。
(イ) 専門能力, 技術	専門的な運動能力, 技術を身につけているか。
(ウ) 意欲	取組に意欲があり, 3年間続ける意志が感じられるか。
(エ) 態度	取り組む姿勢, 態度, 身だしなみはきちんとしているか。

- ウ 実技による自己表現(文化系)【吹奏楽(男女), 美術(男女), 書道(男女)】  
各実技の実施方法は, 検査の当日に指示する。実技に必要な持ち物等は, 出願時に指示する。

評価項目	評価基準
(ア) 基礎技術	基礎的な技術を身につけているか。
(イ) 表現力, 実践力	表現力, 実践力を身につけているか。
(ウ) 意欲	取組に意欲があり, 3年間続ける意志が感じられるか。
(エ) 態度	取り組む姿勢, 態度, 身だしなみはきちんとしているか。

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「学力検査の成績」, 「調査書」, 「自己表現」及び「面接検査」の得点から算出した総合得点の順位を基準とし, 下記の各選抜資料の内容等に特に問題のない者から, 入学許可候補者として内定する。

- ア 学力検査の個々の教科の得点
- イ 調査書の個々の教科の評定
- ウ 調査書の行動の記録
- エ 面接におけるCの評価

### (2) その他

自己申告書が提出された場合には, 選抜資料に加える。ただし, 提出されたことにより, 不利益な取扱いはしない。

## 5 その他

過年度卒業者については, 第2日の面接検査終了後, 別途個人面談を行う。

学校番号

千葉県立

高等学校 全日制の課程 普通科

## 1 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う5教科の学力検査
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者3～5名、評価者2～3名の集団面接

## 2 評価項目及び評価基準

## (1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
個々の教科の得点	特に問題となる点がある場合は、審議の対象とする。

## (2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 全学年の計の値が著しく低い教科がある、または、未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数が多く、その理由が不明確である場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○印の個数が特に少ない場合は、審議の対象とする。

## (3) 面接

受検者3～5名の集団面接を実施する。

面接は、2～3名の評価者がそれぞれ「A」「B」「C」の3段階で評価し、Cの評価がある場合は審議の対象とする。

評価項目	評価基準
(ア) 志望動機	本校に入学する明確な意志があるか。
(イ) 内容	質問をよく理解して、自分の考えで答えられているか。
(ウ) 規範意識	学校のルールを守ろうという意識があるか。
(エ) 態度等	礼儀、姿勢、言葉遣い、身だしなみはきちんとしているか。

### 3 選抜方法

#### (1) 選抜の方法

平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は、入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、算式2で求めた数値で順位付けをして、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接の結果」を資料とし、総合的に判定する。

#### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

### 4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。